

【2学期が始まりました】

みなさんおはようございます。1学期の終業式には、自分の好きな本を紹介する「ビブリオ・バトル」のことを話しました。夏休み中には、たくさんの本や参考書を買って読みました。その中で面白かったのは、わかぎ糸ふさん作の「はい」と言わない大阪人という本でした。わかぎ糸ふさんの本は自宅に何冊ありますが、コテコテの大阪人が書いた本でとても面白い本です。少し内容を紹介すると、ぬくもりのある会話というところがあります。あるうどん屋さんに、5歳くらいの女の子を連れてお父さんが入ってきてうどんを注文しました。店のお姉さんが「小さいお茶碗もいるね」と聞くと、「はい、ください」とお父さんは答えました。これは普通の会話です。

大阪人なら「はい、ください」とは答えず、店の人と親しかったら「さすがやな」と相手を持ち上げたり、初めて入った店でも「あ、そうか。すんません。助かりますわ」と、心で思っていることを喋った。それが、「言葉」を「掛ける」ぬくもりのある会話をする事なのだと言われていました。コテコテの大阪弁を喋る人を見かけることは少なくなりましたが、「なんでやねん」「しゃあないなあ」「おおきに」から、商売用語に類する「儲かりまっか」「ぼちぼちでんな」なんかもあります。

ぬくもりのある大阪弁発見して使ってみることで、コミュニケーションがつながり、人の輪が広がります。ぬくもりのある大阪の言葉を広げてみませんか。

【体育大会と合唱コンクール】

2学期には体育大会と合唱コンクールが予定されています。体育大会の各種目や赤と青に分かれた応援団の取組みもあります。3学年が縦割りで応援を競い合うことは、人の気持ちを分かって伝えることや相手の気持ちや身になって分かってもらうことなど、これから次の学び舎に行った時や就職することになった時には、とても大切になる事です。人の気持ちが分からんと仕事は務まらんと思っています。お客さんや使ってもらう人の気持ちが分かってこそ、上手く仕事が行くのだと思います。

皆さんが買い物をした時に、「えーもん買った」と思えば、品物を販売した人は買う人の気持ちを捉えて大したもんです。

全学年が協力して大きなことに挑戦する機会は、これから大人になるにつれてどんどん少なくなっていきます。大きな達成感を味わうためにも、クラスや学年、縦割りの団体で思い存分頑張ってみましょう。合唱コンクールも音楽の授業が始まれば、校長先生が皆さんに混じって歌わしてもらうこともあるかもしれません。その時は、どうぞどうぞと気持ちよく招待してください。